

| No | ご意見・ご質問  |
|----|--|
| 1  | <p>①市民の幸福実感を追求する・子供への教育・地域の産業を盛り上げる、という方針や目標は産業振興条例とも被ります。しかしながらここでは一言も言及がありません。産業振興会議メンバーの小職としては一体感を持った条例にするために産業振興条例への言及や関係性、リンクが必要で、市として一貫性を持たせる必要はないでしょうか？</p>   |
| 2  | <p>②基本指標やKPIの基礎となっている元データの内「全国（もしくは埼玉県）学力・学習状況調査」は学力部分のデータもさることながら学習状況や「規律ある態度」などの意識に関する調査はまだ考えに芯がない、誰かに言われれば意見がすぐ変わる子どもが答える内容であり、答える学年ごとの特徴や直近にあった出来事等に引っ張られることが多く単年での指標としてはあまり適していないと思っています。数年ごとの平均値で指標を作るのが適しているのではないのでしょうか？</p>  |
| 3  | <p>③基本目標1の施策1の子ども育成プラン【教育】の(5)もしくは別項にこどもの視点を入れて欲しいと思います。(5)は保護者への負担に焦点が当たっていますがヤングケアラーと呼ばれる、親や自分より小さい兄弟の面倒をみて場合によっては不登校になりがちなお子様自身、彼らへの社会的弱者としての手を差し伸べる視点が欠けていると思います。指標にも不登校児童・生徒の数（もしくは全児童人数に対する不登校数の割合）などの把握・目標をKPIなどに組み込むことが大事ではないのでしょうか？</p>   |
| 4  | <p>④希望子ども数の指標目標に関してもコロナや震災など、インパクトがある出来事があると単年度調査では上下が激しい場合があると思います。これも過去3年間の平均値の目標などに切り替えたらどうでしょうか？</p>   |
| 5  | <p>⑤市民意識調査の基本指標とKPIにある<br/>A「子供が目標に向かって充実した生活を送っている」と<br/>B「子供が未来を生きる力を持っている」<br/>の設問は何が違うのでしょうか？<br/>目標値の違いA「60%」とB「46%」の根拠も良く分かりません。<br/>令和元年の現状値のA「46.5%」と「40.8%」が示すようにこのAとBの質問は内容としてほぼ変わらない、ということを示しているのでは？<br/>だとしたらAの目標値は高すぎる、とも言えます。<br/>指標や設問自体の変更か、目標値の変更か、など修正を加える必要があるのでは？</p>  |
| 6  | <p>⑥待機児童数は潜在的待機児童が含まれていない。つまり本当は働きたいけど、様々な理由、例えば、働いても得られる収入と保育所に支払う費用が釣り合わず結局保育所待ちを申請しない、などがある。市民意識調査等で潜在的待機児童数やその理由を把握・推計できないか？</p>   |
| 7  | <p>⑦吉川市はPTAからの要望、を受け付けたりしていないのか？<br/>草加市では毎年、PTAからの要望を取りまとめ市長に提出している。<br/>これらの実現を何か指標として表現することは出来ないか？<br/>例えば、実現した要望÷全要望数=実現要望割合など。<br/><br/>ただ、要望には法案(条例)を通す必要のものもあれば、現行の法の枠内で予算さえあれば出来るものなどがあり、どう指標を作るのかは非常に難しいものがあると理解はしているが…。</p>  |
| 8  | <p>⑧基本目標2をすべて読んで、原案冒頭に出てきたSociety5.0の視点を感じることができない。産業振興条例の新案もそうだったが、中央政府に言われたSociety5.0という言葉だけが独り歩きして、本質を理解していない条例では市民に理解を得られない。<br/>Society5.0の削除か<br/>Society5.0を入れるのであれば<br/>どんな施策を具体的に取るのかを示す必要がある。<br/><br/>例えば、吉川市としてドローンやロボットを使った農業拡大の支援や広い農業用地の転換やこれから作られる三輪野江の道の駅の土地などを生かし、自動運転技術やVRなどの世界を体感できるような施設を作る、など。後者は限られた民間開発企業の助けがあるので実現性は低い、前者の例は企業農家がいる吉川市なら可能なのでは？</p> |
| 9  | <p>⑨基本目標2の施策4には観光関連団体の連携による観光の推進が盛り込まれているがそれに対するKPIは入込観光客数は第1回会議の際事務局から「吉川なまざまラソン」の参加数(市民も市民外も含む)とのことでした。<br/>この指標だけでは正直施策2の実現度を測っているとは到底思えない。<br/>さくらまつりや八坂祭りなどがあつた際の売上や吉川駅利用者や人口動向(携帯のビッグデータ)などが活用できないか？</p>   |
| 10 | <p>⑩基本目標2の施策4のKPI「ふるさと納税パートナー事業者数」は事業者数だけではなく、ふるさと納税の納税額の増減を指標としたらどうか。</p>   |
| 11 | <p>戦略目標(案)にある、戦略推進のための三つの横断的視点に書かれた「多様性…誰もが活躍するまち」という部分はとても重要な点だと思いました。そのため、基本目標1, 2, 3に書かれる内容は、「多様性」の尊重との整合性を考えた上で書かれるとよいと思いました。</p>  |

|    |  |
|----|--|
| 12 | <p>・基本目標1にある、「妊娠・出産・子育て」の希望を叶えるという部分については、それと同時に、単身者やセクシュアル・マイノリティ含め、多様な生き方があたり前に尊重されることが合わせて明示できるとよりよいと思います。</p> <p>・また、シングルマザーの子育てや、障害のある親など、子育てにサポートが必要な人たちへの対応が書かれるとよりよいのではないのでしょうか。</p> <p>・地域の「人口確保」のために、「妊娠・出産」が奨励されていると読める書き方は避けるべきだと思います。</p>   |
| 13 | <p>基本目標2については、多様な人たちが、憩いの空間、また、スポーツや文化芸術などを楽しむことができるようにすることを明示できるとよいと思いました。</p> <p>・高齢の人、障害のある人、外国籍住民など、合理的配慮が必要となる人たちも含めた「誰も」が、豊で住みよいと感じられる地域をつくるという点を、基本的視点としてより明示的に打ち出すことはできないのでしょうか。</p>   |
| 14 | <p>基本目標3については、特に、これまで、長時間労働や男性中心型労働慣行のなかで、働く場から疎外されやすかった女性や、働くことに傾倒せざるを得ず、家族や地域とのつながりが希薄になりがちであった男性が、それぞれに、働く場を確保したり、地域活動に時間をさけるようになることが、個人にとっても、地域にとっても、重要だという点をより明示的に書き込めるとよいと思いました。</p>   |
| 15 | <p>多様性の尊重、という点は、裏を返すと、現状では、すでに多様な人（男性、女性、高齢者、障害者、LGBTQ、外国人等々）が地域に存在しているながら、さまざまな人たちが同じようには活躍の機会が確保できていないという課題への対応を意味していると思うので、そうした点が計画を通じて明示されるとよいと思いました。</p>  |
| 16 | <p>市の男女共同参画計画との整合がうまく図られるとよいと思います。</p> <p>・吉川では、災害・防災とジェンダー多様性配慮に関する取組が、活発に行われていると聞いています。こうした取組も、総合戦略のなかで、言及できるとよいのではないのでしょうか。</p> <p>参考<a href="https://www.city.yoshikawa.saitama.jp/index.cfm/27,31364,c,html/31364/danjo2.pdf">https://www.city.yoshikawa.saitama.jp/index.cfm/27,31364,c,html/31364/danjo2.pdf</a><br/> 参考情報)<br/> 2021年6月10日(木)ドキュメント “ジェンダーギャップ解消” のまち 理想と現実<br/> <a href="https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4556/">https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4556/</a></p> |